

まだまだ暑さが残る9月15日(火)午前10時、25A同期会有志の面々が新潟市役所の玄関に集合した、かねて計画していた「新大フィールド・ミュージアム(新潟大学所蔵芸術作品・貴重品)国登録有形文化財となった医学部正面の赤門や赤煉瓦の塀、師範学校記念館、先達を顕彰する胸像や歌碑」などの見学会を行った、男性7名、女性4名の計11名の方が参加されました。



新潟大学の前身は、旧官立大学の一つであり、新潟医学専門学校・新潟師範学校旧制新潟医科大学・新潟高等学校・新潟第一師範学校・第二師範学校・新潟青年師範学校・県立農林専門学校・長岡工業専門学校等が母体であります。昭和24年の学制改革に伴い、人文学部・教育学部・理学部・工学部・農学部・医学部等の他、全部で10学部5研究科と別科として脳研究など、革新的先端技術(ミトコンドミアム)による人間の加齢関連疾患の解析や脳科学の分野である認知症の治療などの研究を行っており、本州日本海側ラインの中心都市新潟に位置する大規模総合大学であります。

理念と目標

高志(こし)の大地に育まれた敬虔質実の伝統と世界に開かれた開港都市の進取の精神にもとづいて、自律と創生を全学部の理念とし、教育と研究を通じて地域や世界の着実な発展に貢献することを目的とする。

校章

六華(りっか)新潟に降る雪の結晶をデザイン

新潟大学学生歌

笹川美和、作詞・作曲「耳をすませば」イメージソング

キャンパス

五十嵐キャンパス・旭町、西大畑キャンパスがあり学生数は全体で約10100名
教員約1200名・事務局約1390名となっています。

「見学した何点かを掲載」

大学のシンボル医学部正門（赤門）は、国登録有形文化財、大正3年建築
赤煉瓦塀も国登録有形文化財、新潟医学専門学校の塀として、明治44年建築。
新潟大学現存最古の建築物



中田瑞穂句碑「学問の静かに雪の降るは好き、」
生誕百年を記念して平成4年建碑。
中田先生は初代脳研究施設長、高浜虚子の高弟。
文化功労者、日本学士院会員



旧・新潟師範学校記念館建物、国登録有形文化財
（現・旭町学術資料展示館）

昭和4年（1929）に新潟師範学校の記念館として建築された
鉄筋コンクリート造のネオ・ゴシック様式
清水組の設計施工による。



「新潟高等学校跡」碑（教育学部付属学校敷地内）
旧制新潟高等学校は現・新潟大学の前身
昭和54年、創立60周年を記念して六花会が建碑

生誕ここに一年と
春は再び廻り来ぬ
草木緑に萌え出でて
雲雀は高く歌ふなり
若き誇りの二百人
光を浴びて丘に立つ



ここに掲載した他にまだまだ多くの芸術作品や貴重資料がありますが、それらは小中学校の構内であったり、時間の関係から省略したものもあります。新潟大学医学専門学校初代校長、池原康造先生胸像や大正11年新潟県生まれで、文日展入選の小島克也氏作と思われる彫像の他、改装の始まった新潟大学旭町学術資料展示館建物など見学することができませんでした、

大学構内とはいうものの学生が見当たらず（学生の大半は五十嵐キャンパス）病院の印象がよかった、文化の香り立つ初秋の校内は新潟県最上位の知識と教育の集積地である、大学のキャンパスで赤門や赤煉瓦、記念館などを目の当たりにして、長い間先人達が積み上げてきた歴史の重みを十二分に感じました、私にとっては充実した半日でした。

令和 2年9月22日
シニアカレッジ新潟 25A同期会
森 俊 雄